

の町有地に305kgの農薬を埋設したが、その農薬の除却を行う。

■社会教育課

◎ 郷土芸能の利用について。

▲ 現在は町内における催しでお願いしているが、今後は指導者及び観光課と協議し、町外における活動について、前向きに検討する。

◎ 社会教育課の施設でアスベストはどうなっているのか。

▲ 旧三国小学校の部分は囲い込み処理が終わっている。

◎ 美術館建設と作品の有効利用は。

▲ 建設は多くの意向があれば検討する。童画は394点になったが、地域の様々な場所でも多くの人に見ていただく。常時130点の童画が出ている。

■学校教育課

◎ 除細動器の購入は。

▲ 心臓に電氣的ショックを与えて、蘇生させる機器を全ての学校、公民館、

産業観光課で購入する。湯沢分署の救急救命士に全学校で講習してもらおう。心臓が停止すれば使用できない。

■建設課

◎ 中央公園のテニスコート改修は、塩沢のように国体を誘致できるように改修を考えないのか。

▲ オムニコートへの改修はしない。

◎ 雪に強い町づくりとして、小原・原新田等の流雪溝は考えていないか。

▲ 大堰の水が宮林の方に枝のように流れてきているが、昨年も関係者に集まってもらって話をしたが、なかなか難しい。今後も話を継続していく。

◎ 水道課

▲ BOD基準では20PPMであるが現在は10PPM以下である。

◎ 料金改定は他自治体との単なる料金比較による値上げ及び急激な料金改

定を行わないこと。

▲ 一般会計からの繰入金が入る。73%を占めている。行財政改革の中で19年度に5千万円の料金アップを考えている。浅貝のマンション接続及び複数年かけての料金改定を検討し、シミュレーションした中で案を提示する。

◎ 三俣、二居、堀切の下水道は。

▲ 二居は三俣の後、堀切は個別処理を考えている。今後、三俣の実施時期を決定する。

◎ 石綿管の未改修延長は。

▲ 15kmで全体の9%。

◎ 自然湧水の活用状況は。

▲ 水源で湧水が無い箇所は小坂・中里、他は全て利用している。

■ロープウェー事業所

◎ 夏まつり、雪まつりの負担金が多い。経営が苦しいなか減額交渉はできないのか。

▲ 雪まつりは布場スキー場で実施することから負担額が大きい。夏祭りは

100万円を補助金として求められている。また、この祭りを観光協会主催としてできないか検討中。

■町長への総括質疑

◎ 観光事業の民営化の考えは。

▲ 民営化ができる力のある業者と契約するとの引継ぎを受けている。職員も16名いる。

◎ 今後協議を進める。

◎ 観光予算減の考え方は。

▲ パンフレット作成等、今までの手法を確認し、より効果的に行っていくたい。予算等が減額されているが、2年続きの風評被害を想定しなかった中の決定であったと思う。行政改革推進委員会と再度協議した中で、次の議会でも報告する。

◎ 四季型観光のありかたは。

▲ 観光産業に携わっているのは旅館・商店等とされている人が多いが、農家も観光農園等という形で参加してもらい、観光の幅を町全体に広げたい。

◎ 収入役事務の兼務は。18年4月1日から実施する。

◎ 町長車の運転業務委託は。

▲ 今後の体制については精査する。ロープウェーの関係と運転員の関係についても検討する。ただし、廃止はできないと考えている。

◎ 普通財産については譲渡を考えるべきと思う。

▲ 新行財政推進室において、数字を上げ関連資料を作成する。

◎ 町は差し押さえをして競売する考えはないか。

▲ 公売しても抵当権が付いていると町の収入にならない。抵当権がないものについては件数が少ないが行っている。

◎ 道路、流雪溝等国県に

▲ 優先順位を付けた中で、国県にお願いしていく。

◎ 中学校建設の時期は。

▲ 危険校舎になれば補助金、起債の対象になる。

▲ 危険校舎の状況をみながら年度を決定する。